

QSK

2023年 夏

No. 192

福岡あけぼの会便り



作品名・スイスのマッターホルン 作者・ステップアップⅢ型 池田 義幸さん

特集

終わりになき夏の思い出

事業所通信
それでも歩こう ～東基幹
家族会便り
後援会コーナー
ともに明日へ ～ サンサンはかた

<あけぼの会便り発行時期>

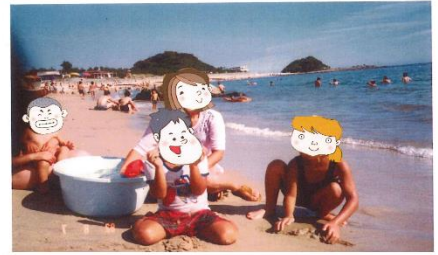
新春	1月上旬
春	3月上旬
初夏	5月上旬
夏	7月上旬
秋	9月上旬
冬	11月上旬

印刷・折り込み作業は利用者さんと職員、共同で行っております。発行時期が若干変更になる場合があります。ご了承ください。

特集 終わりになき夏の思い出

私の「夏の思い出」は、親戚との思い出です！
志賀島まで行った思い出は、今でも忘れません！

T氏



5年ほど前、しののめのメンバーと二見ヶ浦にドライブに行きました。
鳥居の景色や夫婦岩が見られてよかったです。弁当もおいしかった！あと、2年前百道浜に一人で海水浴に行きました。クロール、平泳ぎができた事、日焼けができた事がよかったです。
これが僕の夏の思い出です。

Kさん

去年の暖かい日に、糸島に海のボランティアに参加しました。
みらいから車で行って、波けしの木や石を拾う作業をしました。
海辺で糸島のきれいな海を見たり、風や音を感じ良い時間を過ごせました。

A氏



中学生の時、大雨の日に迷子になったことがありました。その時に弱ったクワガタを見つけ、ハチミツとリンゴを食べさせてお世話すると元気になり、しがみついてきました。そのクワガタに「クロ」と名付け、家にもち帰りました。1週間位お世話するとさらに元気になりました。しかし、祖母が「放してきなさい！」と言うので、やむを得えず山にかえしてきました。そんな切ない夏の思い出です。

T氏

小学生の頃、毎年7月に行われる「篠栗ぎおん祭」で子ども神輿を担いでいました。
青い法被に赤いふんどし姿です。沿道の人から水を掛けられ、びしょぬれになって”わっしょい、わっしょい”と声をだして走っていました。走り終えたあとはお菓子をもらい、楽しかった記憶として残っています。

Fさん

小学生の頃、お盆は祖父の家に行き、母の兄弟やいとこなどがたくさん集まっていました。
ごちそうを食べたり、スイカ、冷麦を食べたことや、1本売りの花火を色々買ってもらい花火をしたことは、今でも心の中にある大切な思い出です。

S氏

小学校3年生から中学校3年生までボーイスカウトに入団していました。お盆の時期はキャンプに行き、3～4泊テントで過ごしました。竹と土で、かまどを作りから行い飯ごう炊飯をしました。カレーライスが定番メニューです。方位磁石と地図を使ってオリエンテーリングも行い、キャンプファイアーでコントなどを披露し楽しみました。

帰宅後はぐったりするほどきつかったけれど、夏の思い出として印象深く残っています。

匿名希望さん

小学生の頃にサンシャインプールへ家族で行った思い出があります。流れるプールに弟と入り、スリルを味わったことが印象に残っています。流水スライダーは大行列でしたが、急流下りのような楽しさを味わえて、とても楽しかったです！

I氏

僕の夏の思い出は、2019年8月10日に福岡サンパレスに「遊助」のライブを見に行ったことです。家族と一緒に行きました。一番好きな「わんぱく野球バカ」という曲を歌ってくれて最高でした。

池田一輝さん



夏といえば、音楽フェスですね！♪

ドームでの公演に友人で行った思い出が忘れられません。好きなアーティストの出番がくると、大きな声で叫んで、楽しんでいました。野外の屋台メシも美味しく、お祭り気分を味わえました。コロナの感染が落ち着いてきた今、また友人と行きたいです！

A氏

私の夏の思い出は、去年の夏、みらいの外売店で昔ながらの駄菓子屋さんを企画した時の事です。施設長が無邪気にアイスクリームをほおぼり、シャボン玉で遊ぶ姿に癒されたことを忘れはしません、、

スタッフ植村さん



ドクダミを見て、母が作っていたドクダミ茶を思い出しました。

A氏



地元の夏祭りに出演者として参加したことが思い出としてのこっています。盆踊りの振り付けをチームで覚え、舞台の上で披露していました。本番は緊張のため振り付けをミスしてしまいましたが、みている人はお祭り気分なので、全然気にされなかったです。もし今年また祭りがあ、見る側として楽しみたいと思います。

K氏

★手をつないで二人で歩いた海岸線
★ネコとの熱い夜

いなり太郎

学生時代の軟式庭球部の全国大会で、神戸から松山へ船で行ってみんなと過ごした事。

太郎

子供の頃、鹿児島島の川内のおじいちゃんと朝早く起き、カブトムシやクワガタをたくさん捕まえました。メチャ楽しかったです。

Y u k i

高校はみんなプールに入りました。これが、夏の思い出ですね。スタッフの事も知りたいです。

天野雄介

カブトムシ、クワガタを週に2回ほど採取に行っていた。たくさん捕まえたまにムカデも落ちてきた。

田中和久

家族でBBQを海の中道でしました。その後家で流しそうめんをしました。夏といえば流しそうめんやBBQですね。

みっちゃん

★事業所通信★

しののめ

2023年6月3日（土）城南高校で文化祭が行われました。城南高校の学生さんからの依頼で、しののめプラスの唐揚げを販売することとなり、しののめプラスのメンバーは朝から一生懸命唐揚げ作りに精を出し、しののめ（荒江）のメンバーは実際に文化祭にて販売の役割を担いました。その数日前には梅雨入りが発表された九州北部……。前日までは雨がしとしとと降り続き、天気心配されていましたが、当日は見事に晴れ！しののめ（荒江）のメンバーは大きな声で「いらっしゃいませ！」と接客をし、メンバー間でも声掛けをしながらスムーズに販売できるように工夫をしていました。しののめプラスのメンバーは少ない人数の中、役割分担をしながら大量の唐揚げを作り、パックやお弁当箱に手際よく詰めていました。地域の学校とのつながりができる、貴重な一日となりました！



春になりいちご狩りに行きました。ビニールハウスにたくさんのいちごが実っていて、ヘタ入れの紙コップを片手にみんなで楽しく、美味しくいちごを食べました。いちご狩りをしたハウスは海も近く、車内からの景色もきれいでした。「今でもあの景色がよみがえります」と作業所内で話すメンバーと思い出話に花が咲きました。白いいちごなど、珍しいいちごも頂き「あつま！」とみんな驚きながら食べていました。7月には七夕鑑賞会予定です。



みらい

今年も様々なイベントを企画しています。5月には「抹茶と苺大福の会」というイベントをしました。参加者みんなで苺大福を作り、抹茶も茶せんを使い本格的な抹茶を楽しみました。参加された方から「初めて抹茶をたて、いい経験が出来た」「とても美味しかった」など嬉しい感想を沢山いただきました。今後のイベントも楽しみです！



ステップⅢ型

花見に行きました！

Ⅲ型では久しぶりに春の外出行事として、宇美八幡宮、宇美公園に散策、花見に行ってきました。当日はお天気も良く桜も満開でちょうど見頃でした。宇美八幡宮で和菓子を買ひ、神社に参拝し境内を見学した後、宇美公園へ移動、かなり急な階段を登りベンチで休憩、みんなでお菓子を食べました。少し汗ばむような陽気のもと、美しい桜並木と美味しい和菓子に心も体も満たされた楽しい外出行事となりました。



心の春希望

先日、表現塾コラボのイベントを開催しました。内容はTシャツ型に切った半紙に、頭に浮かんだデザインや各自の思いを書き込んで、「心の洗濯をする」というものです。Tシャツ型の紙には「非売品」と書き込まれていたり、カエルの絵があつたりと様々でした。一人一人の発想力にまた驚かされた一日でした。



多機能型ステップアップ

粕屋町のバラまつりに参加しました！当日は暑いほどの快晴で、お菓子はもちろんアイスクリームもよく売れました！注文が絶えず入り、あたふたした時もありましたが、みんなで「いらっしやいませ！」と声を出し、楽しむことができました。お菓子は完売できました！当日来ていただいた方々、ありがとうございました！
いました(^▽)



トライアングル

5/3の開所日はナマステの日でした！

バターチキンカレー、ナン、ターメリックライス、ラッシーを昼食でいただき、食後はボッチャで盛り上がりました。インドの音楽が流れ、異国情緒を楽しむひとときを過ごしました(^_^)☆



夢中でボールの行方を見守っていますね！

それでも歩こう

「新年度」

連載コラム No.38

私は今年の4月に城南区にあるB型事業所から東区の基幹相談支援センターに異動しました。

初めてのことばかりで緊張と不安の毎日ですが、周りの方たちの温かいフォローや優しさに支えていただきながら日々勉強しなんとか頑張っています。

そんな私は、仕事を頑張るためにも土日の休みをいかに楽しく過ごそうかとよく考えています。山に登る、パン屋に行く、本を読む、ひたすらだらだらする、くらいしか過ごし方のレパートリーはないのですが、今度の休みはなにをしようかなと考えるだけでわくわくしてきます。

仕事に精一杯取り組み、休日は思う存分自分の時間を楽しむ、という生活を過ごしていければと思います。

東区第3障がい者基幹相談支援センター 谷口



家族会便り



2023年度 家族による家族学習会実施のお知らせ

～全5回連続 家族講座の参加者を募集します～

『すずめのお宿・家族会』では、今年度も「家族による家族学習会」を実施いたします。この病気に出会った家族同士が、語り合い学び合いながら、何よりも辛い思いをしている当事者を支えるため、また自分自身が楽しく生きるために「家族のための講座」を開きたいと思います。とにかく不安で仕方がない、病気の事をもっと知りたい、当事者とどう関われば良いのか困っている、他の人達はどんなふうに暮らしているのか知りたいなど、様々な思いを抱えておられるご家族の方々、ぜひご参加ください。お待ちしております。

	毎月第3土曜日	時間	会場（福岡あけぼの会・こころの春希望）
第1回	9月16日（土）	13時半～16時半	こころの春・希望（南区大楠1-35-17）
第2回	10月21日（土）	13時半～16時半	こころの春・希望（同上）
第3回	11月18日（土）	13時半～16時半	こころの春・希望（同上）
第4回	12月16日（土）	13時半～16時半	こころの春・希望（同上）
第5回	1月20日（土）	13時半～16時半	こころの春・希望（同上）

★参加できる方：精神疾患・障がいを抱えておられる方のご家族

★参加費：1000円（テキスト代含む。）

★問い合わせ・申し込み先：白石 Tel080（3952）8205



〒815-0082

福岡市南区大楠1丁目35-17

電話 092(791)5858

mail kouenkai@f-akebonokai.jp

福岡あけぼの会後援会コーナー



第4回福岡あけぼの会アート展
今年も10月開催!
応募は10月7日まで受け付け



共生時代を共に
令和5年度会員の
みなさま

コロナ禍も収まり日常が復活。福岡あけぼの会でも2年休んでいたあけぼのふれ合い祭りが今年から新しく始まる。あけぼの秋フェスタ（10月28日～11月3日）のメインイベントとして復活。期間中には新たにハロウィンイベント（多機能型みらい）も登場。期間中、今年で4回目となる「福岡あけぼの会アート展」（福岡あけぼの会後援会主催）の作品展示、表彰もあり、アートを通してより多くの出会いが生まれそうです。応募も始まりました。

▽応募は油絵から水彩、日本画、パステル、色鉛筆画等で障がいをお持ちの方とご家族が対象。A3サイズまでの大きさを一人2点迄。応募用紙は事務局で用意。希望者、お問い合わせは心の春希望（092-52414153担当・畷、久米）か後援会（090-360444452・担当・坂井）まで。

恒例のバスハイク 晴天に恵まれ 食と海風を満喫

今年の「福岡あけぼの会1日バスハイク」（後援会主催）は、6月19日（月）関門の1日ふれあい旅を楽しみました。スタッフと利用者、家族会それに今年



初めて学生ボランティア1名も加わり43名が参加。先ずは「腹ごしらえ」として門司区の日本ビール旧館前のしゃぶしゃぶ屋で昼食。薄く切った一口大の食材鍋に煮え立たせた熱湯やスープにくぐらせて加熱。小鉢のタレをつけ食べる典型的な日本料理を満喫。食事をすると目の前は関門海峡の潮の流れの中を航行する船舶も見え「まるで絵のよう」とか感動。昼食の後は関門トンネルを通

て下関水族館・海響館を見学。タイムングよ2時午後からイルカショータイムを見学。大喜びだった。

阿利清美、白水正子、三上宏子、井上純治、宮崎宏之、ヒューマン21一木美千代、廣渡次郎、山下輝道、三苦峰子、笠鈴子、有吉時寛、山下功子、有吉和寛、心和堂後藤クリニク・後藤英一郎、上山一郎、山本由美、菅野康子、佐々木寿美、江川サダ子、江川勝、小塩輝子、渡辺医院・渡辺大介、田中メンタルクリニク・田中俊孝、田川裕二、大島光江、迫まゆ子、佐志俊夫、福岡あけぼの会・みぎわ工房、高橋よし子、上野悦子、江里口信子、福永里子、判田章江と家族、中間研志、新納力雄、高原精一、博多区第1障がい者基幹相談支援センター、地域活動支援センターサンサンはかた、福岡あけぼの会・多機能型ステップアップ、牧村桂子、福岡あけぼの会・就労継続B型・しののめ、隅谷和生、浦塚真里、植村真由美、鳥越道子、星美香、山口千鶴、福岡あけぼの会・就労継続B型・しののめ（4月7日～6月18日の間、ご入会、ご寄附をいただいた方。敬称略）



事業所紹介

施設名	郵便番号	住所	電話番号	Mail
本部事務局	815-0082	福岡市南区大楠1丁目35-17	092-791-7472	honbu@f-akebonokai.jp
多機能型事業所	多機能型みらい	福岡市南区大楠1丁目35-17	092-524-4121	mirai@f-akebonokai.jp
	多機能型ステップアップ	糟屋郡粕屋町若宮1丁目1-18	092-938-9388	stepup@f-akebonokai.jp
就労継続支援事業B型	しののめ	福岡市城南区荒江1丁目23-25	092-851-7528	shinonome@f-akebonokai.jp
	しののめプラス	福岡市城南区別府5丁目8-19	092-834-4336	shinonome@f-akebonokai.jp
	ほのぼのHaKaTa	福岡市博多区吉塚1丁目12-53	092-409-8318	honobono@f-akebonokai.jp
	みぎわ工房	大野城市白木原4丁目1-5	092-592-3942	migiwa@f-akebonokai.jp
地域活動支援センター	トライアングル	糟屋郡篠栗町中央4丁目15-3	092-947-3173	triangle@f-akebonokai.jp
	心の春希望（I型）	福岡市南区大楠1丁目35-17(2F)	092-524-4153	kibou@f-akebonokai.jp
	サンサンはかた（I型）	福岡市博多区吉塚3丁目18-36	092-409-2471	sansan@f-akebonokai.jp
区障がい者基幹相談支援センター	ステップアップ（III型）	糟屋郡粕屋町若宮1丁目1-17	092-938-6702	stepup3@f-akebonokai.jp
	博多区第1障がい者基幹相談支援センター	福岡市博多区吉塚3丁目18-1	092-409-2478	hakata1kikan@f-akebonokai.jp
グループホーム	東区第3障がい者基幹相談支援センター	福岡市東区馬出1-2-23第1岡部ビル102号	092-292-5604	higashi3kikan@f-akebonokai.jp
	カレッタ	福岡市早良区有田5丁目24-27	092-873-2578	caretta@f-akebonokai.jp
	はひとつる	糟屋郡篠栗町大字篠栗3697-1	092-947-6805	heartfull@f-akebonokai.jp

第45回



サンサンはかた

〒812-0041
福岡市博多区吉塚3-18-36
TEL 092-409-2471
FAX 092-409-2472
地域活動支援センター I 型

今回は、いつも明るくて元気な男性利用者「Yさん」へ、アンケートの依頼をしました。
インタビューした内容です。ぜひご覧ください。

スタッフ「今、どのような生活を過ごされていますか？」

Yさん「グループホームに住み、就労移行を利用してパソコンの勉強をしている」

スタッフ「地域活動支援センターについては、どのように利用していますか？」

Yさん「サンサンはかた、心の春希望を利用中、また他の施設も利用している。色々と利用できるのは便利だ」

スタッフ「サンサンはかたは週にどの位の頻度で来所されていますか？」

Yさん「行けるときは週5回、時間は11時、昼過ぎ、夕方、たまに足の爪が痛い時は、病院にとめられる」

スタッフ「サンサンはかたで楽しいことは何ですか？」

Yさん「スタッフに冗談言ったり、話したり、将棋することや俳句を読むこと」

スタッフ「サンサンはかたで好きなことは何ですか？」

Yさん「行事に参加すること、自立支援を考えること」

スタッフ「これから、やってみたいことは何ですか？」

Yさん「子供に、将棋を教えた」

スタッフ「普段、体調面で気をつけていることは何ですか？」

Yさん「血圧が上がったり下がったりすると、病院から自立を止められるので、血圧管理をしたり野菜をたくさん摂取したり、病院との連携をとっています」

アンケートインタビューにおいて、笑顔にてスタッフへ「ぼけ」と「つつこみ」をおりませながら、
答えていただきました

Yさん、本当にありがとうございました。

また、サンサンはかたに登録していただいている65名のご利用者様、今後ともご利用をお待ちいたしております。

★写真は、今からお気に入りの皿でトマトを食べようとしている「Yさん」です。



面談室の部屋の中の写真



利用者さん用のキッチンテーブル



「福岡あけぼの会便り」バックナンバーはこちらからご覧いただけます。→



【編集】社会福祉法人福岡あけぼの会 〒815-0082 福岡市南区大楠1丁目35-17 ☎ 092 (791) 7472 (代)

【発行】九州障害者定期刊行物協会 (QSK) 〒812-0068 福岡市東区社領1丁目12番4号

年会費 2,000円 (購読料含む) 一部 100円